



玄界島復興だより

第 1 2 号

発行：玄界島復興対策検討委員会

おかえり玄界島へ

震災から2年、かもめ広場の仮設住宅に離れて暮らしていた子ども達が島に帰ってきました。震災前の子ども達の明るい声と活気が島に戻ってきました。

帰島・引越の動き

3月20日(火) 県営住宅完成記念式・防災訓練
震災からちょうど2年目の3月20日、県営住宅が完成しました。麻生県知事や県議会議員の方々の出席のもと、完成記念式が開催され、住宅の鍵が島民に渡されました。また午後から、毎年恒例となった防災訓練を実施しました。消防局の方の指導のもと、消火器の扱い方や心肺蘇生法を学びました。

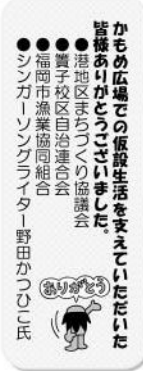
3月21日(祝) 玄界島内の引越
島内28戸の仮設住宅に住む島民の皆さんが、県営住宅へと引越しました。

3月23日(金) かもめ広場備忘式
かもめ広場での2年間の仮設生活でお世話になった方々への感謝の気持ちを込めて、帰島式を実施しました。最後には、小中学生が合唱を、保育園児が島鷹太鼓を元氣よく披露しました。

3月25日(日) かもめ広場から玄界島への引越
前日の雨を忘れさせるような晴天の中、かもめ広場から60戸136名の島民が島に帰ってきました。トラック24台に積み込んだ荷物は台船2台に分かれて玄界島へ、家族がひとつ屋根の下で暮らす毎日がようやく戻ってきました。

3月31日(土) かもめ広場内の引越
かもめ広場に残留する19戸の仮設住宅の引越が行われました。全員の帰島が果たせるのは、来年の春になります。現在の仮設住宅の解体が進められています。

かもめ広場での仮設生活を支えていただいた皆様ありがとうございました。
● 港地区まちづくり協議会
● 賛子校区自治連合会
● 福岡市漁業協同組合
● シンカーソングライター野田かつひこ氏



3/20 県営住宅の鍵を頂きました。



3/23 小中学生が帰島の歌を披露



3/25 トラック 24 台でかもめから引越



3/20 心肺蘇生法を訓練しました



3/23 保育園児が元気に太鼓を演奏



ボランティアの皆さんありがとう

約二百名のボランティアの皆様、引越を手伝っていただきました。ご協力ありがとうございました。
● 福岡東南ロータリークラブ
● 櫻田エンジニアリング
● 空川運送
● 福岡市



かもめ広場仮設解体

来年の春まで残る仮設住宅19戸と集会所1戸を残し、80戸が4月末までに撤去されます。撤去後は、公園や駐車場として再整備されます。
「仮設住宅の解体も始まり淋しい気持ちで一杯ですが、公民館活動も引き続き予定されており、来年春の帰島までみんなで力を合わせて頑張っています」とおっしゃっています。



仮設住宅の解体が進むかもめ広場

前号からの委員会の動き

- 第50回 2/19 かもめ広場残留世帯について検討しました。また、体育館の荷物処分や引越詳細スケジュールについて協議しました。
- 第51回 2/24 前回に引き続き、引越について協議しました。また、子どもたちのバレーボールコートを確認するため、体育館に保管している家財を片付けました。
- 第52回 3/17 引越セレモニー・県営住宅完成記念式について協議しました。また、引越時の体制づくりを行いました。
- 第53回 4/5 平成19年度の活動について確認しました。また、能登半島地震被災者への支援について協議し、まずお見舞い・激励に行くことを決定しました。

小鷹神社の整備について

小鷹神社の一部が造成工事にかかるため、整備方法について自治会と福岡市で協議しました。境内北側の樹木を伐採するか保存するかなど様々な意見がでましたが、できるだけ境内を広く利用するため伐採することになりました。神社には取付道路や擁壁も整備される予定です。



保育園・小中学校再開

玄界島で2年ぶりに保育園と小中学校が再開しました。ほとんど被害のなかった保育園と中学校は現校舎で再開できましたが、小学校は被害が大きく、プレハブ校舎での再開となりました。たくさんの終戦、たくさんの出会いのあった子どもたちは、たくましくなって島に戻ってきました。



中学校入学生（左から井上亜由香ちゃん、梅田晃宏くん、浜田侑果ちゃん、細江康太くん）



保育園入園生（左から林千尋ちゃん、大谷凜華ちゃん、林亮次くん、中村海玖ちゃん、宮川望愛ちゃん）



小学校入学生（左から久島暢起くん、寺田藤矢くん）

戸建て協議会の動き

第6回 3/3

投票による第2次選考を実施し、住宅業者全19社のうち13社が当選しました。また宅地の造成基準について福岡市から説明を受けました。

第7回 3/13

第2次選考を当選した住宅業者13社それぞれから、住宅の建て方や目安価格などの説明（公開面談）を受けました。

第8回 3/26

前回の各社の説明を踏まえ、投票による第3次選考を実施しました。全ての住宅業者に票が入り、落選業者はありませんでした。今後、各社は投票した島民に対し営業を開始することとしました。

墓石のお祝い

県営住宅の工事現場から出てきた無縁墓石などのおお祝いを3月22日（木）に行いました。お祝した墓石は、納骨堂の敷地内に埋葬する予定です。



復興委員会で墓石をお祝いしました

工事現場は危険です。絶対に入らないようにしましょう!!
工事の事に気をつけましょう!!



カレンダー

- 3/20(火) 県営住宅完成記念式
" 防災訓練
- 3/21(祝) 島内引越
- 3/22(木) 墓石のお払い
- 3/25(日) かもめ広場引越
- 3/26(月) 保育園再開
- 3/31(土) かもめ広場内引越
" 保育園終了式
- 4/ 2(月) 保育園始業式
- 4/ 5(木) 小中学校始業式
- 4/ 7(土) 保育園入園式
- 4/10(火) 小学校入学式
- 4/11(水) 中学校入学式
- 4/20(金) 小学生 歓迎遠足
- 5/ 中旬 ホルア号(ハワイ)交流会
- 5/22(火) 小学5・6年生
自然教室(5/25まで)
- 5/24(木) 小学3年生 校外学習

玄界島 広報部
古島 尚樹
玉川 晋万
梅田 りか子
上田 恵子
松田 美加代
福岡市 中かき
大石 哲也

能登半島地震の被害状況

【発生日刻】平成19年3月25日 9時42分
【規模】マグニチュード6.9
【最大震度】6強（石川県輪島市など）
【人的被害】死者1人、重傷者26人、軽傷者283人
【住家被害】全壊579棟、半壊1021棟、一部損壊8912棟

能登半島は福岡と同様、地震が起こる可能性が低かった地域で、石川県で震度6を記録したのは、1926年の観測開始以降はじめてのことです。

（平成19年4月16日現在 石川県HPより）

能登半島地震 3月25日（日）、かもめ広場からの引越が行われていた最中、能登半島沖を震源とした地震が発生し、北陸地方広域に被害が出ました。復興委員会では「今まで受けてきた支援の恩返しをしよう」と、4月13日（金）、復興委員8名で能登半島地震の被災者へお見舞いと激励のため石川県輪島市を訪問しました。特に被害の大きかった輪島市の災害対策本部や同市門前町の避難所など3ヶ所を巡り、激励の言葉をかけるとともに、島の皆さんの応援メッセージや干羽鶴を渡してきました。すでに解体が進められている家屋もあり、避難者の多い公民館などには、布団が敷きつめられていました。4月下旬から5月上旬にかけて、仮設住宅の入居が開始されます。私たちが被災直後の気持ちを忘れず、復興に向かって頑張りましょう!!



島の皆さんの応援メッセージを渡しました



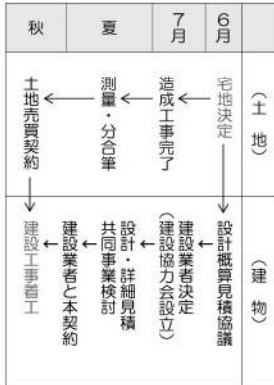
輪島市長に玄界わかめ240袋を贈呈しました



玄界島復興だより

第 13 号

発行：玄界島復興対策検討委員会



宅地抽選会の様子

11月1日の戸建て協議会発定から、11回の会議を開催し、円滑な住宅建設や宅地の分譲などについて協議を重ねました。6月8日の現地見学会を経て、6月11日に抽選会を実施し、各世帯の宅地位置が決定しました。7月末には造成工事完了となりますが、その後、境界線の埋設や確定測量が行われ、9月末頃に宅地分譲契約となります。宅地位置が決まったことから、今後、住宅業者を決定し、設計を進め、秋から戸建て住宅の建設が始まります。(※裏面に宅地位置図を掲載)

戸建住宅 宅地位置決定

6月下旬から小学校校舎の解体が始まりました。8月までに解体が完了し、その後、用地の整備や校舎の建設が進められ、平成21年度から小学校併設の校舎として開校されます。小学校は、昭和32年に現中学校用地から移転し、昭和54年に現小学校校舎が完成しました。



小学校の入口まで道路ができています

小学校校舎 解体工事着工



鎌入れする吉田市長

6月11日、来年3月の復興完了に向け、市営住宅建設工事の安全祈願祭が行われました。市営住宅の建設戸数は7棟65戸。今月中旬に着工しています。県営住宅と同様、塩害対策や引き戸の採用など玄界島独自の仕様を取り入れられています。3階建以上の棟にはエレベーターが設置され、小鷹神社の横のエレベーター2基は、ブリッジと連結し、上下移動支援施設として8階建て相当の高低差を乗り越えることができるようになっています。安全祈願祭の後、吉田市長は「皆さんが安心して暮らせる環境づくりに全力で取り組んでいかなければ」と語られました。(※裏面に住棟配置図を掲載)

市営住宅 安全祈願祭



現在の工事状況 (平成 19 年 6 月 17 日撮影)



市営住宅の建設工事が始まっています。平地に建設機械が増えますので、通行には十分に気をつけてください。また、工事現場には入らないでください。



前号からの委員会の動き

宅地分譲について復興委員会の関わり方を協議し、宅地価格と宅地位置の決定までは、戸建て協議会とともに協議・検討することとなりました。また、福岡市から宅地価格の決まり方や宅地分譲契約などについて説明がありました。

宅地割りの見直しや確認書の提出など宅地分譲について協議しました。

宅地位置が決定し、住宅再建や公共基盤整備についての協議が落ち着いたことから、今後の島の復興についての協議を始めました。また、地藏堂・観音堂の用地分譲や功德碑や記念碑等の復旧について協議しました。

第56回 6/22
第55回 6/2
第54回 5/2

戸建て協議会の動き

福岡市から宅地価格の決まり方や宅地分譲契約などについて説明がありました。また、模型等を使って宅地面積や価格について説明があり、宅地割の見直しなどについて意見が出ました。さらに、戸建て協議会の役員が選挙により決定しました。

宅地割りの見直しなど前回の検討課題について福岡市から回答がありました。また、宅地分譲条件について合意しました。また、宅地位置の決定方法を決めました。

抽選方法の流れについて福岡市から説明がありました。また、斜面地のごみの捨て方について検討しました。

戸建て住宅の宅地位置が決定しました。

協議会の活動内容や皆でまとって行う共同事業、ガイドラインの遵守などについて定める戸建て協議会の規約について協議しました。また、各世帯の業者決定後、建設協力会を設立することになりました。

戸建て協議会の役員を紹介します

- 【会長】 梅田 哲司
- 【副会長】 宮川 智行
- 【書記】 寺田 次男
- 【書記】 玉川 丈治
- 【会計】 梅田 清孝

(梅田会長のコメント)

宅地位置が決まり、一段落つきましたが、これから住宅建設への動きが本格的に始まります。来年春の住宅再建に向けて、みんなで協力して頑張っていきたいと思っております。

噂の玄界っ子

島に居つて3ヶ月が過ぎ、子供たちも落ち着いて生活ができるようになりました。保育園では、新しく宮川莉空りく君と久保田大智いっく君も加わり、ちよっぴりにぎやかになりました。現在全12名です。保育園では家庭では味わえない友達との関わりや遊び・生活などが経験できます。初夏の暑さに負けずスポーツを頑張っています。また、ひまわりおじさんこと荒井勲(いさお)さんに教えてもらい作成したネットアートの顔が公民館の前で泳いでいます。



島の玄関口に子ども達の作った鯛が泳いでいます。



週に3回、ソフトボールの練習を頑張っています。



中体連に向けてバレーの練習にはげんでいます。



新しく入園した莉空くん(写真左)と大智くん(写真中央)

ホクレア号 来島

5月15日、ホクレア号の船員の皆さんが来島しました。ホクレア号は、ハワイの伝統的航海術を再現した原始的なカヌーで、世界中の海を旅しています。残念ながら、船は博多湾に停泊しており、見ることはできませんでしたが、伝統的なハワイの踊りを勇壮に披露してくれました。玄界島からは、保育園・小中学校の子供たちが、太鼓や琴など日本の伝統的な楽器を披露しました。



伝統的な踊りを披露してくれました

“戸建住宅の宅地位置”と“市営住宅の住棟配置”



カレンダー

- 6/14(木) ウニ湯解禁
- 6/21(木) 小中学校 避難訓練
- 6/25(月) 小学校 フェール開き
- 6/26(火) 小学校 スケッチ大会
- 6/27(水) 中学校 フェール開き
- 6/28(木) ウニ湯解禁
- 7/16(日) 中体連
- 7/22(日) ”
- 7/20(金) 小中学校 終業式

福岡市 大石 哲也
松田 恵子
久島 美加代
梅田 りか子
玉川 穂乃
宮川 尚樹
玉川 尚樹
荒井 勲

玄界島 広報部



玄界島復興だより

第 14 号

発行：玄界島復興対策検討委員会

島の復興策を考えよう!!

復興委員会では、復興後の島の復興策について話し合っています。どんなことについて話し合っているか紹介します。

山道をつくらう!!

震災で山道が崩れたり、草が茂ったりしているところがあります。山道を整備して、山の恵を味わったり、島の観光名所にできないか考えています。



中学校校舎を活用しよう!!

小中併設した新校舎が再来年の春に開校するので、現中学校校舎の活用方法について考えています。



にぎわい広場を活用しよう!!

特産物の販売など、島の玄関口となる「にぎわい広場」の利用方法について考えています。



復興事務所が移転します

事務所用地が広場として整備されますので、11月30日に現事務所を移転します。電話番号は決まり次第お知らせします。

(移転先) 玄界公民館2階



地鎮祭の様子

平成18年3月の被災家屋の除却工事着手から約1年半、造成工事も完了し、10月上旬に戸建宅地の分譲契約が行われました。分譲後、各宅地では地鎮祭が行われ、基礎工事や擁壁工事など戸建住宅の建設が始まっています。また10月末には、水道や集落排水、ガス、電気などライフラインの整備も完了しました。戸建住宅や市営住宅が完成し、島民全員が帰島する復興完了まで、あと5ヶ月となりました。

宅地分譲契約 インフラ整備完了



現在の工事状況(平成19年10月21日撮影)

- 第62回 10/18
- 第61回 9/20
- 第60回 8/25
- 第59回 8/11
- 第58回 7/21
- 第57回 7/7

前号からの委員会の動き

宅地抽選結果について確認を行いました。また、島の復興策に関する事例や体制づくりについて協議しました。

顕徳碑や記念碑などの修復や、観音堂や地藏堂などの土地分譲について協議しました。委員会終了後、島の復興策の一環として、子ども運と蜂蜜の瓶詰め作業や、工事業者さんへの感謝の気持ちを込めたサザエの燻焼きセールを実施しました。

前回に引き続き、観音堂や地藏堂などの土地分譲について協議しました。また、市営住宅エレベーターの電気代や集会所の共益費の負担について協議しました。また、島の復興策として、蜂蜜づくりやにぎわい広場の利用について協議しました。

前回に引き続き、市営住宅の共益費や宗教施設の土地分譲について協議しました。また、島の復興策として山道づくりなどの事例について協議しました。

復興策の一環として山道づくりを検討しました。

山道づくりの現地調査を行うこととしました。また、集会所増築分の地元負担額や斜面集落部の安全対策について市から説明がありました。

両陛下 玄界島ご視察



島民に優しく微笑む両陛下

天皇皇后両陛下が、復興状況視察のため、10月29日にかもめ広場を、30日に玄界島を訪れました。両陛下は多くの島民に優しくお声をかけていただき、健康状態をはじめ漁業や復興状況についてお尋ねになり、励ましの言葉をいただきました。昼食では、サザエやアワビなどのお刺身やれんご鯛の焼魚、クジラのぬたえなど島の特産物をお召し上がりになりました。具入りそうめんがお気に召されたようです。



両陛下を迎えた島民太鼓



大漁旗を掲げた漁船の群れ



両陛下を見送る島民の様子



両陛下を送った玄界太鼓

戸建て協議会の動き

- 第13回 7/7 宅地抽選結果や造成工事について確認を行いました。
- 第14回 8/7 戸建て協議会の規約を決定しました。また建設会社の建設協力会設立に向けて、発注会社ごと世話を決定しました。
- 第15回 9/13 宅地分譲契約や固定資産税評価について福岡市から説明がありました。
- 第16回 9/24 宅地面積の確定に伴う家屋の配置や、宅地分譲後の地鎮祭の日程について協議しました。
- 第17回 10/22 建設協力会が設立したことを受け、今後のスケジュールや工程調整について確認を行いました。
- 第18回 10/30 屋根の色や形状などガイドラインについて確認を行いました。

カレンダー

- 10/ 1(月) 宅地分譲契約開始
- 10/ 6(土) 保・小・中合同 大運動会
- 10/ 9(火) 小中学校 山古志村との交流会
- 10/29(月) 両陛下 かもめ広場ご視察
- 10/30(火) 両陛下 玄界島ご視察
- 11/ 1(木) 小鷹神社(鳥居・玉垣などの)修復工事着工
- 11/15(木) 生活再建支援金 個別説明相談会(玄界島)
- 11/16(金) "
- 11/20(火) 生活再建支援金 個別説明相談会(かもめ広場)
- 11/28(水) 小学校 学習発表会(公民館)
- 11/30(金) 復興事務所 移転
- 12/15(土) 保育園 お楽しみ会(公民館)

保育園にお友達が増えました

9月10日に保育園に新しく3名の子ども達が入園しました。4月に園児9名で、鳥で再開した保育園ですが、現在15名で、とてもにぎやかになりました。



写真 右から
藤尾製音ちゃん(0才)
大西伶奈ちゃん(1才)
長谷川美由ちゃん(2才)



小中学生の大綱引き



保育園児のかけっこ



島民総出のリレー



中学生のダンス披露

大運動会 曇り空の中

10月6日、秋空の晴天の中、保育園・小学校・中学校合同の大運動会が、島で3年ぶりに開催されました。仮設の小学校が設置されているため、グラウンドが少し狭くなり、園児15名、小学生19名、中学生13名と児童数も少なくなりましたが、中学生を中心に全力で頑張る、地球の方々も大綱引きやリレーに参加し、とても盛り上がりました。

小中学校 山古志村と交流

福岡県西方沖地震の5ヶ月前に発生した新潟県中越地震で被災した旧山古志村(現長岡市)の小中学生8人が、10月9日に島を訪れ、島の小中学生と交流しました。お互いに被災体験や避難生活などについて話し、励まし合い、それぞれ復興への応援歌を披露しました。また復興委員会は、7月9日に長岡市にワカメ約百五十袋を送付しました。



給食を囲み話し合う子ども達

- 玄界島 広報部
- 古島 尚樹
 - 玉川 晋万
 - 三川 晋万
 - 梅田 りか子
 - 久島 美加代
 - 上田 恵子
 - 松田 ゆかり
 - 福岡市 哲也
 - 大石 哲也